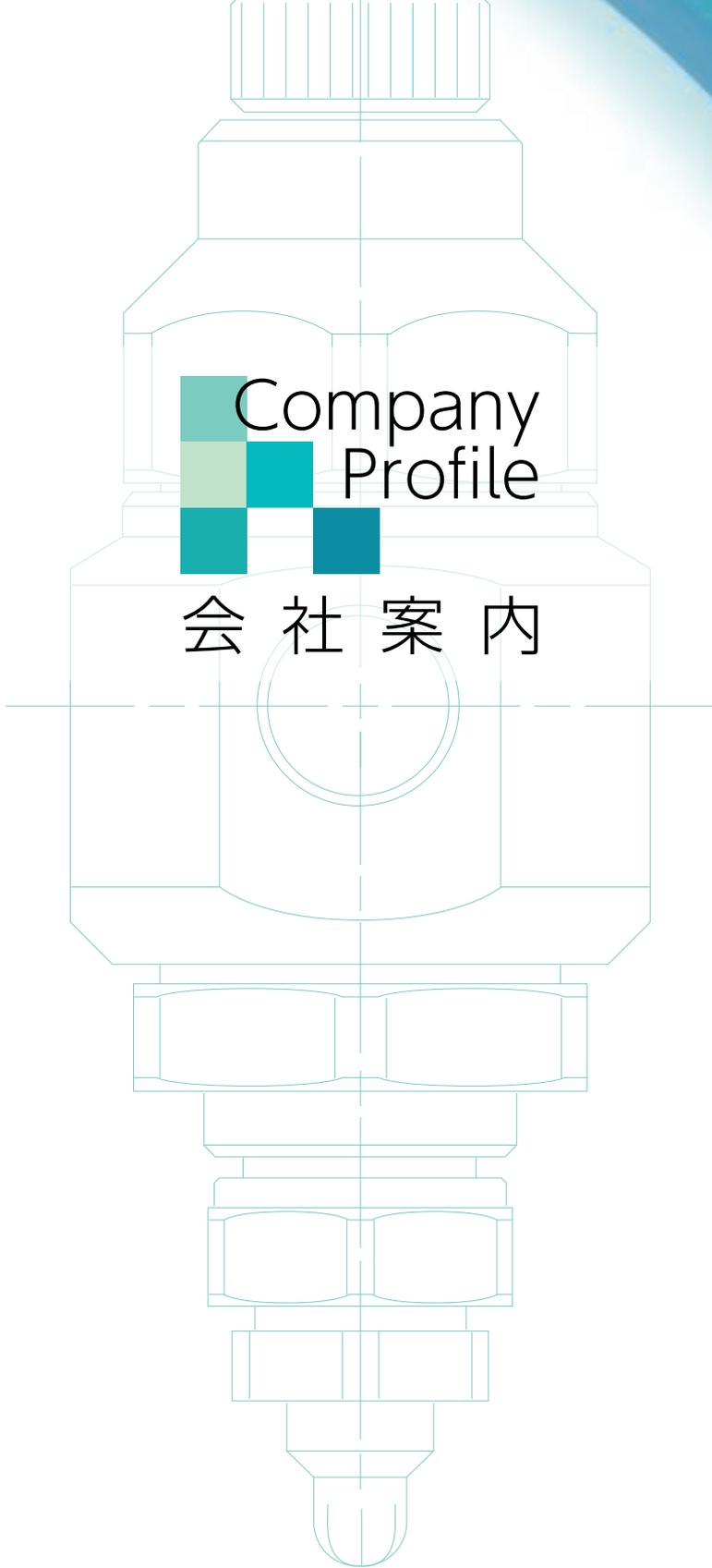




Company
Profile

会社案内



日本のものづくりを支え続ける、 「フォグエンジニア」の霧。

霧のいけうち、産業用スプレーノズルの国内トップクラスのメーカーとして、60年以上にわたり高精度で独自性の高い製品を社会にご提供し続けています。

当社のスプレーノズルから生まれる霧は、今やあらゆる産業、さまざまなものづくりの工程で広く活躍しています。

これほど多様な分野でご支持をいただけるのは、「新しいものやサービスを世に出すことが真の社会貢献である」という当社の考えが皆さまに認められ、育てていただいたおかげです。

このご恩に感謝し、これからも当社は、霧の専門家「フォグエンジニア」として、とことん霧にこだわり、当社にしかできない製品開発で社会に潤いをご提供してまいります。



経営理念

「霧で社会に貢献する」

紙・パルプ・印刷



キャンパス洗浄、耳切り、紙や段ボールなどの含水量調整、エアーで紙を送る剥離。また洗浄後の液中に含まれる異物の除去にも用いられ、環境対策にも貢献しています。

加湿	調湿
トリミング	洗浄

エレクトロニクス



半導体ウエハーの洗浄、プリント基板の精密洗浄、クリーンルームの湿度環境を保ち帯電破壊を予防するなど、精緻化するエレクトロニクス業界において大きな役割を果たしています。

洗浄	現像
エッチング	剥離
加湿	

公害防止



ダイオキシン対策として、排煙冷却用にスプレーノズルが利用されています。また排煙中の窒素酸化物を除去する脱硝装置や、硫黄物質を除去する脱硫装置などにも利用されています。

排ガス冷却	冷却
鎮塵	熱暑対策
消臭	

車輜・運輸



エンジン・パワートレイン工場、車体工場、塗装工場、バンパー工場、艦装工場、カーエレクトロニクス製品製造工場など、幅広い工程でスプレーノズルが利用されています。

冷却	加湿
洗浄	乾燥

鉄鋼



1983年に製鉄用2流体ノズルを開発、連続鋳造冷却用途へのご提案を開始。冷却以外にもデスケーリング・洗浄・表面処理・鎮塵などの用途にスプレーノズルが利用されています。

冷却	デスケーリング
洗浄	表面処理
鎮塵	排ガス冷却

食品



従来手動で行っていた工程の自動化・高精度化や均質化により、省力化・コスト削減に利用されています。さまざまな食品の美味しさと安心に、当社のスプレーノズルが役立っています。

洗浄	味付け
塗油	調湿
殺菌消毒	

農畜産



微粒化した液肥を直接作物の根部へ噴霧する斬新な新耕作法。温室内の加湿・冷房・殺菌に3兼用される新装置。牛豚畜舎・鶏舎で冷房・殺菌消毒に2兼用される装置といった画期的な開発を通じて、これからの農畜産業界に大きく貢献していきます。

洗浄	冷房
散布	殺菌消毒

景観・環境



ヒートアイランド対策や、河川に流入する前の工業廃水の浄化などにスプレーノズルが利用されています。テーマパークなどの光と霧の演出効果も好評です。

冷房	演出
汚水ろ過	消臭

医療・福祉



病院や介護施設などでの加湿、室内の殺菌消毒、医薬品の充填、打錠器洗浄などにスプレーノズルが利用されています。またミストサウナや、トイレ洗浄といった用途でも活躍しています。

洗浄	殺菌消毒
冷房	加湿

エネルギー



防災用途にスプレーノズルが多用されています。また熱暑による発電出力低下の回復を目的とした、ガスタービン吸気冷却やエアフィンクーラー冷却などの取組みが進められています。

冷却	鎮塵
洗浄	防災

新たな事業領域とともに、 霧のソリューションは世界へ。

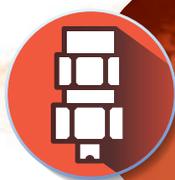
日本の産業発展の歴史とともに、ものづくりの生産性・品質向上に貢献してきた当社の霧。

大気汚染や地球温暖化といった地球規模の環境対策、産業や暮らしの省エネルギー化といった社会的課題に対しても、霧を用いた独自のアプローチを行っています。

例えば、ダイオキシンやその他有害ガス除去効率向上のための排ガス冷却や、霧の気化熱を利用した冷房システムによるヒートアイランド対策。乾燥や静電気に起因する製品不良防止のための省エネルギー加湿。さらには砂漠地帯でも作物の栽培を可能にする新たな農業技術。

当社では、これらのアプローチを専門に行う事業を設立し、国内のみならず、広く海外ニーズへの対応にも力を入れています。

スプレーノズル全般を扱うフォグエンジニア



ノズル事業

数千種の標準品・数万種の特注品を用途や目的に応じて、ステンレス・樹脂・普通磁器・超硬ハイアルミナ磁器など、全ての素材で製造し供給しています。

社 是

「人の足跡を踏むな」

“加湿業” 専門事業



空調事業

濡れない霧“ドライフォグ”を用いた加湿システムで、印刷工場や製紙工場、エレクトロニクス関連工場における静電気トラブルの予防をご提案しています。

産業と暮らしに役立つ霧をご提供



環境事業

ヒートアイランド対策として、いち早く霧の気化熱を利用した冷房システムを開発した事業です。夏季には涼を、冬季には潤いをご提供しています。

工業冷却のエキスパート



冷却事業

高温の排ガスなどの気体冷却・鋼鉄などの固体冷却・双方の冷却技術コンサルタントとして、ノズルの選定から配列駆動ノウハウ、さらに必要な各種装置まで設計制作いたします。

霧を用いた新しい農業を研究開発



アグロ事業

微細粒子化した液肥を作物の根に直接噴霧する画期的な耕作法や、冷房・加湿・防除に3兼用できる自動栽培支援システムを提案しています。

冷房・加湿・薬液散布を自動化



畜産事業

夏季の畜舎内温度を低下させ畜体の食欲不振や体調不良を改善します。
また暑熱・消毒・害虫対策を包括的に行える冷房・薬液散布システムを提案しています。

世界のニーズに幅広くお応え



海外事業

全事業の海外への進出を支援する輸出業務と、優れた海外製品の輸入業務を行います。これらの目的を達成するために世界中に広いネットワークを展開しています。

いけうちの歩み

社 是

人の足跡を踏むな

株式会社いけうちは1954年に貿易商社として創業。1961年に精度保証付きセラミックノズルを開発したことで、スプレーノズル製造販売メーカーとしての道を歩み始めました。



“セラミック製ノズル”

輸出貿易商社として創業した当社。負けん気の強い創業者は、日本で開発された製品だけ(当時花形だった繊維産業のレイヨン生産に関わる製品など)の輸出を心がけました。

その取扱製品の中に優れた耐摩耗性・耐薬品性を持つセラミック製の紡糸口金(Spinneret)がありましたが、戦後、レイヨンに代わる素材、ナイロンの普及とともに使用されなくなりました。

セラミック口金の素晴らしい技術を残したかった創業者は、1961年、彼の出身地である広島県呉市に小さな工場を開設し、この技術を転用してセラミック製スプレーノズルの生産に成功。スプレーノズルの摩耗に悩んでいた大手農業散布機メーカーに喜んで受け入れられたことを契機に、各業界へ広く進出していくことになりました。



最初に開発されたセラミックチップ

“精度保証”

スプレーノズルにはさらに「精度保証」をつけました。これは「噴量公差」「噴角公差」「射角公差」が一定精度内の製品のみを出荷する取組みで、現在のスプレーノズル業界でも類を見ないものです。

これ以降、標準品への精度保証は当社の製品品質に対する信頼の証となり、お客さまに高い評価をいただいております。

独自の“霧の分級”

一口に“霧”と言ってもその特性はさまざまです。そのため当社は早い段階で霧を粒子の大きさによって独自に分級し「工業資材」として社会にご提供できるよう規格化しました。

これにより、お客さまの課題解決に必要な霧の条件が明確化、スプレーノズルやシステムの最適な選定・提案が可能となりました。

セラミック製ノズル開発までの苦難



セルジェット
開発当時のCERJET®

セラミック製ノズルの開発には多くの難関がありました。一番の課題はセラミック素材は焼成過程で「収縮」ということです。

設計段階で噴霧時の霧の広がり具合や、霧の量、最終的な寸法などを緻密に計算しても、焼成による収縮のために製品品質を保証することが困難でした。また原料の状態や水分量、気泡の有無などの要因から、同じ焼成条件であっても仕上がりが異なり、品質にばらつきが出ました。

こうした課題を乗り越えるため、素材や焼き温度などさまざまな条件を一つ一つ入念に調べ上げ、幾度もの試行錯誤の結果、ついに“精度保証”付きセラミック製ノズル“^{セルジェット}CERJET”が完成したのです。

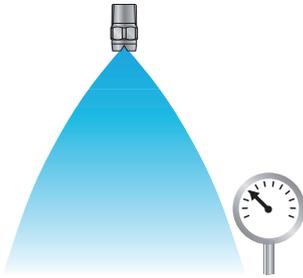
いけうちが提供する霧

■ スプレーノズル精度保証

当社のスプレーノズルはそれぞれに厳しい精度保証基準を設けており、その基準に合格した製品のみをお客さまにお届けしています。この精度保証により、非常に精緻な噴霧が要求される場合においても、確かな信頼性と安全性をもってご要望にお応えすることが可能です。

1 流体ノズルの精度保証

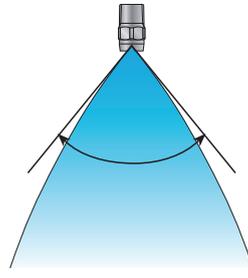
噴霧流量の公差



± 5%

ノズルシリーズごとに設定された標準圧力*の下に、±5%以内を保証しております。

噴霧角度の公差



± 5°

ノズルシリーズごとに設定された標準圧力*の下に、±5°以内を保証しております。噴霧角度は特記のない限り、ノズル近傍での角度を示します。

射角公差



3°以内

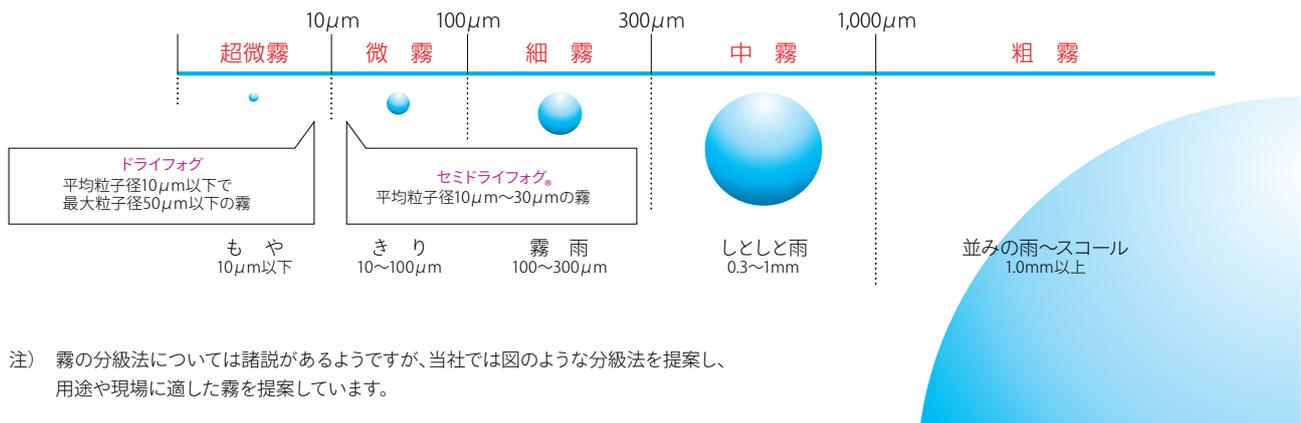
ノズルシリーズごとに設定された標準圧力*の下に、心ブレ3°以内を保証しております。

※ 1流体各シリーズで最もよく使用される圧力を標準圧力(設計圧力)と定めています。

■ 霧の分級

当社はこれまでバラバラに論じられていた霧の粒子の大きさを定義し、霧を工業資材として提供してきました。そして暮らしを取り巻く水や大気と向き合いながら、新たな製品開発に取り組んでいます。

霧の分級法



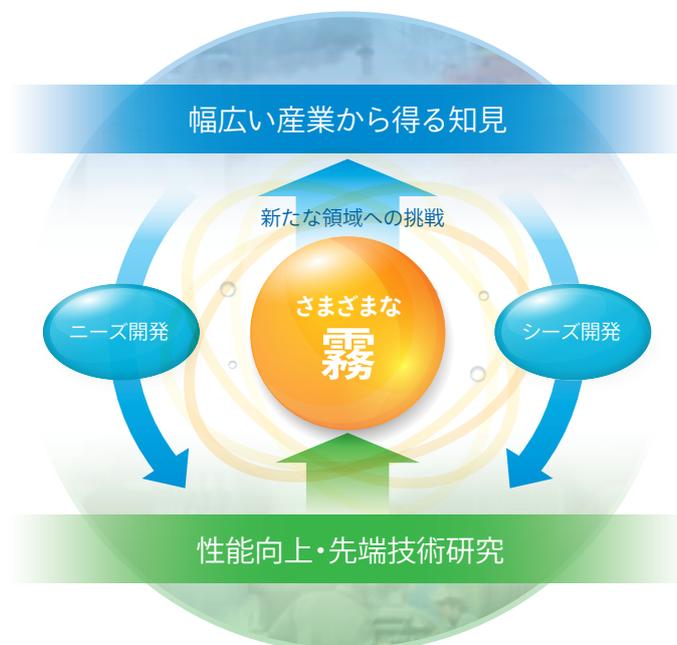
注) 霧の分級法については諸説があるようですが、当社では図のような分級法を提案し、用途や現場に適した霧を提案しています。

いけうちの強み

さまざまな霧を駆使し、あらゆる産業領域へ挑戦を続けます。

当社は単なるノズルメーカーにとどまらず、“霧”の広範な活用技術を開発して、新事業を展開しています。

そしてその事業は国内のみならず世界で展開され、その積極的な挑戦が微粒化技術の向上を促進し、独自性の高い霧のソリューションを生み出す土壌となっています。



ものづくりの基盤となる製品だからこそ。

“精度保証”へお寄せいただく信頼を保ち、より満足していただける製品を提供すべく、品質マネジメントシステム(QMS)の国際規格ISO認証を取得しております。

また同規格に準拠した独自のQMSとともに、製品の信頼性と安全性、業務品質の継続的な改善を行い、全社一丸となってお客様の満足度向上に努めています。

製品品質



粒子径測定装置



打力測定

高度な検査機器を導入し、霧の品質を決める噴霧流量、噴霧角度、流量分布などの綿密な検査を実施。

製品管理



バーコード管理で出庫ミス防止



回転棚

バーコードとハンディータミナルでヒューマンエラーを防止。

また自動倉庫や回転棚をとの連動で確実なロット管理・トレーサビリティが可能に。

スプレーノズル事業と 5つの専門事業の紹介



ノズル
事業



環境事業



空調事業

5つの
専門事業



冷却事業



アグロ事業



畜産事業



ノズル事業

スプレーノズル全般を扱うフォグエンジニア。 お客様の課題解決まで一貫サポート。

1961年にセラミック製スプレーノズルを開発し、“精度保証”を設けている当社。加えて、あらゆる用途にお応えすべく、ステンレス・真鍮・超硬合金・普通磁器・超硬ハialミナ磁器・各種樹脂などの素材をフル活用し、どんな用途のお求めにも応じています。ノズル事業は当社の核となる事業として、霧を活用する他の各事業へも最適なスプレーノズルを製作し供給しており、お客様のあらゆるご要望に応じられるよう特注品や、スプレーユニット製品の開発もお引き受けしています。



製品動画



50,000点以上の取扱い製品から、スプレーノズルを提案します。



ノズルのスペシャリストだからできるソリューション

高い技術で生み出されたノズルは、燃焼設備などの過酷な環境でも、また精密機械製造現場などのシビアな環境でもお客様のご要望を満足する性能を発揮します。

ノズル製作から生まれたノウハウはその枠を飛び越え、総合ソリューションとして複雑な問題を解決するまでに発展しています。



産業と暮らしの両面に役立つ 霧のソリューションを幅広くご提案。

環境事業では、濡れない霧“セミドライフォグ”を用い、大規模工場や都市空間の省エネ冷房、教育施設や病院内の乾燥対策なども専門的に扱っております。ヒートアイランド対策としていち早く開発した当社の屋外冷房装置“涼霧システム”は、霧の気化熱を利用した熱暑対策として、今や都市部のいたるところで見かけるほど一般的なシステムとなっています。

近年では夏季のデマンド値の抑制や消費電力削減のための室外機冷却システム、また冬季の乾燥対策、インフルエンザなどの感染症予防を目的とした加湿システムの研究開発と普及に取り組んでいます。



環境冷房
製品動画



セミドライフォグ®冷房装置
りょうむ
「涼霧システム®」



ビル用マルチエアコン向け
室外機冷却システム



畜舎を濡らさず冷房・除菌消臭
クールペスカン
「CoolPescon®」



ジェット噴射式オートストレーナー
アークス
「ARSフィルター」



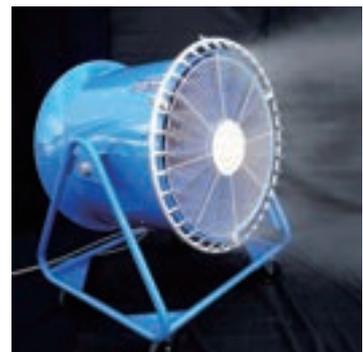
ミサワホーム様

大空間省エネ冷房システム
クールジェッタードーム
「COOLJetter®Dome」

クールジェッター

霧＋ファンの冷房装置 COOLJetter® シリーズ

触れても濡れないほど微細な霧“セミドライフォグ”の気化熱を利用し、霧の周辺温度を5℃低下させる省エネ冷房装置です。お客さまのご利用になる現場環境や用途に合わせて、小噴量から大噴量タイプまで豊富にラインアップ。グラウンド、体育館、大規模工場の作業スペースや休憩所など、あらゆる場所の熱暑対策にご利用いただけます。





空調事業

ドライフォグを用いた加湿システムで、あらゆる産業の静電気トラブルを改善。

国内特許を持つスプレーノズルから発生する“ドライフォグ”を用いた加湿システムのご提案で、乾燥や静電気を原因とする製品不良、作業環境のトラブルを改善しています。

ドライフォグ加湿は「濡れ厳禁」の現場にも対応しており、広範囲の湿度管理はもちろん、制御系を分割し、必要な工程だけに至近距離から加湿を行うことも可能です。

また蒸気式加湿と比較してランニングコストを約40%削減。その性能、業績を表彰され、静電気学会において「進歩賞」を受賞しました。



静電気学会「進歩賞」



製品動画



産業空調加湿システム エアラキ AirAKI[®]



AirAKI[®]導入事例
オフセット印刷工場



AirAKI[®]導入事例
IC実装工場



AirAKI[®]導入事例
段ボール製造工場



AirAKI[®]導入事例
プラスチック成形工場

ランニングコストは蒸気式加湿の約70%削減

1流体加湿システム エアウルム AirULM[®]

コンプレッサーエアを使用しない産業用1流体加湿システムです。天井高さ3.5m以上の工場内全体を加湿対象とし、高圧ポンプを用いて、現場の設備機器や生産品などを濡らさない霧質・空間を実現。蒸気式加湿と比較したランニングコストは、約70%抑えられます。



平均粒子径7.5 μ mの霧

産業空調加湿システム エアラキ AirAKI[®]

触れても濡れない霧、ドライフォグ加湿器AKIMist“E”と純水器や制御装置を合わせてシステム化した産業空調加湿システムAirAKIは、お客さまのご要望にあった設計で、目的に合わせた湿度管理を実現、生産現場の質を向上させます。





冷却事業

工業冷却に特化した専門チームが ニーズにあったフォグ冷却システムをご提案。

従来の工業冷却の常識をくつがえす、霧を用いたフォグ冷却システムを開発。冷却コンサルタントとして気体冷却と固体冷却の双方において、適切なスプレーノズルの選定からレイアウト設計とCFD(熱流体解析)を用いて提案しています。さらには、冷却装置の設計から施工まで、ご希望に応じた100パーセントのサービスをご提供しています。製鉄所・発電所・廃棄物焼却炉などへ納入しています。



製品動画



四国電力様

セミドライフォグ・吸気冷却システム
霧の気化熱を用いて、ガスタービン燃焼用の空気を冷却することで発電出力を回復させます。



冷却塔本体ノズル設置箇所



キルン炉の冷却システム
緩冷却～急冷却までのコントロールで冷却不足や冷却過多を解消します。



エアフィンクーラー冷却システム
ファンの風と霧の気化熱で、外気温度の上昇による冷却能力低下を防ぎます。



ダイカスト製品冷却・
鋳造品冷却システム
製品を濡らさず、均一に素早く冷却することが可能です。



離型剤塗布・金型冷却
離型剤や潤滑剤の節液、金型の延命化などもおまかせください。



JX金属苫小牧ケミカル様

ドレンを発生させない ガス冷却システム

ダイオキシンやその他の有害ガス除去効率向上のために、排ガスを霧で冷却します。CFD(熱流体解析)により塔形状(ガス流れ)とノズルの双方の最適化を行います。ノズルはレーザー計測からモデリングしており、ノズルメーカーにしかできない最適化を行っています。

冷却塔(クーリングタワー)



霧の微粒化技術を活用した 画期的な新農業の創造に挑戦しています。



製品動画

温室農業で、液肥をセミドライフォグ化して根部に給肥する新しい耕法“IKEUCHI Ponics”を開発。露地栽培に比べて30パーセントの肥料代と、2パーセントの水だけで、収量増・品質向上・労力節減・クリーン化農作などに成功し、砂漠地帯での営農も可能にいたしました。さらに、従来の気化冷房方式を超える冷房効率を実現した、“CoolPescon”は、冷房・加湿・防除に3兼用できる画期的な自動栽培支援システムとして世界中の農業分野への貢献が進みつつあります。我社の明るい世界的な発展が当事業に期待されています。



冷房・加湿・防除 自動化システム CoolPescon[®]



自社営農試験農場にて、さまざまな作物の周年栽培を行っています。



夏イチゴで8月収穫を実現。



温室内冷房加湿システム CoolPescon[®]CH



噴霧水耕システム イケウチポニックス IKEUCHIPonics

日射量に応じて給液・水切りを秒単位で緻密に制御し、地上部環境と根域環境、植物状態の統合的な管理を実現します。土やロックウールなどの培地を使用しないことで廃棄物の発生も極力抑えられる、クリーンな栽培方法です。



霧で育てた おいしい野菜

アグロ事業が研究開発する農業技術において、最も大切なことは収益性です。農家の皆さまに安心して採用してもらえるよう、自社温室で収穫したトマトやレタス、イチゴなどの作物は小売店で販売し、営農実証を行っています。



畜産事業

1台3役(冷房・加湿・防除)の環境制御システムで飼育環境を改善します。



製品動画

ヒートストレスの軽減は、畜産動物の生産性や、繁殖能力の回復に寄与することが分かっています。従来の細霧冷房では濡れによる衛生状態の悪化、それに伴う疾病リスクの上昇といった懸念が問題に上がりますが、CoolPesconは、平均粒子径10~30 μ mという微細な霧(セミドライフォグ)により、畜体や施設を濡らすことなく、畜舎内の快適な環境をつくれます。

またCoolPesconは水噴霧と薬液散布を自動制御し、暑熱対策だけでなく薬液散布による除菌消臭、疾病予防や害虫対策をワンシステムで包括的に行うことが可能で、産業動物の体調管理、従業員の負担軽減に役立っています。



クールペスカン

冷房・加湿・薬液散布 自動化システム CoolPescon®



鶏舎



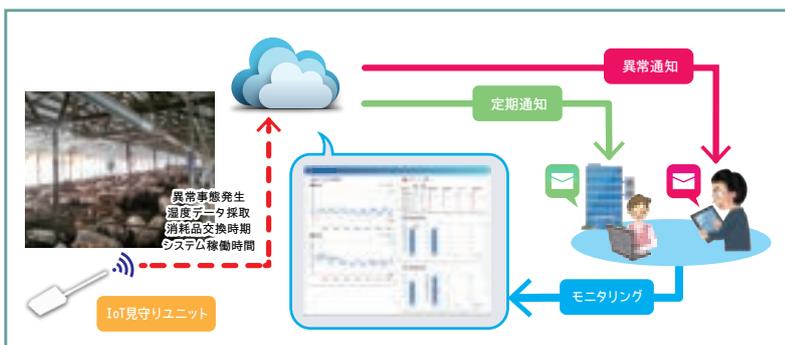
豚舎



厩舎



牛舎



Sigfox IoTユニット

loF-SF-01 (IoT機器)

大気や水質、設備の稼働状態のモニタリング、アラート通知などをユニット1台で管理できます。

ダッシュボードシステムで見える化と通知機能を持たせたIoTユニットです。

拠点情報

国内に8ヵ所の営業拠点、3ヵ所の工場を構え、全国のお客さまへ迅速な対応を行えるよう活動しています。



本 社 | 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-15-15 第一協業ビル
TEL 06-6538-1075 FAX 06-6538-4023

総務部 | TEL 06-6538-1075 FAX 06-6538-4023

購買部 | TEL 06-6538-4020 FAX 06-6538-4023

営業本部 | TEL 06-6538-4018 FAX 06-6538-4023
製品に関するお問い合わせ
TEL 0120-997-084

ノズル事業部 東京営業所
〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X
TEL 03-6400-1970 FAX 03-3452-6151

さいたま営業所
〒330-0856 埼玉県さいたま市大宮区三橋4-320-1
TEL 048-621-1571 FAX 048-622-9261

横浜営業所
〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-26-4 第3安田ビル
TEL 045-313-1637 FAX 045-313-1910

名古屋営業所
〒465-0058 愛知県名古屋市名東区貴船3-118
TEL 052-709-3579 FAX 052-709-3585

大阪営業所
〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-15-15 第一協業ビル
TEL 06-6538-1086 FAX 06-6538-4021

広島営業所
〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 大樹生命広島駅前ビル
TEL 082-263-3987 FAX 082-263-8176

福岡営業所
〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王2-8-1
TEL 092-482-0090 FAX 092-482-0058

仙台出張所
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台
TEL 022-716-8655 FAX 022-265-3666

空調事業部 東京営業所
〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X
TEL 03-6400-1973 FAX 03-3452-6155

大阪営業所
〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-15-15 第一協業ビル
TEL 06-6538-1277 FAX 06-6538-4023

アグロ事業部 東京営業所
〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X
TEL 03-6400-1978 FAX 03-3452-6155

大阪営業所
〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-15-15 第一協業ビル
TEL 06-7655-9384 FAX 06-6538-4021

福岡営業所
〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王2-8-1
TEL 092-482-0090 FAX 092-482-0058

鹿児島出張所
〒890-0034 鹿児島市田上6-22-11 三枝ビル
TEL 099-250-5091 FAX 099-250-5092

海外事業部 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-15-15 第一協業ビル
TEL 06-6538-4015 FAX 06-6538-4022

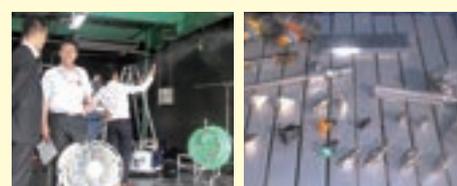
工 場 | 呉工場/広島県、西脇市堀工場・西脇市上比延工場/兵庫県

製品説明会やデモ実演のご依頼は随時受付しております。



ショールーム・実験設備

製品を実際に噴霧し、霧の様子をご覧いただけます。
西脇工場・本社では湿度100%でも濡れない霧(ドライフォク)の世界を体感いただけます。



グローバル展開

「霧で社会に貢献する」ことを目指し、時代ごとの課題や各産業の要望に合わせて高度化・専門化してきた当社のフォグエンジニアリング。そして今、霧の活用領域は国内のみならず国境を越えて海外へと広がっています。

当社では世界のニーズに幅広くお応えするため、海外法人・子会社の設立を推進し、独自のグローバルネットワーク構築に向けた動きを加速しています。

海外での主な展開

日本を除く全世界で営業拠点を構え活動しています。

各拠点には日本人、または日本語が話せるスタッフが常駐していますので、海外関連会社駐在の方からもお気軽にコンタクトいただけます。その他、韓国や東南アジア、世界各国に取扱店がございますので、お気軽にお問い合わせください。

霧的池内(上海)貿易有限公司(中国)

TEL: +86-21-6140-9731
FAX: +86-21-6123-4239
Email: mist@kirinoikeuchi.com
URL: <http://www.kirinoikeuchi.com/>

天津分公司(中国)

TEL: +86-22-2320-1676
FAX: +86-22-2320-1675
Email: mist@kirinoikeuchi.com

深圳分公司(中国)

TEL: +86-755-8525-2221
FAX: +86-755-8525-2215
Email: mist@kirinoikeuchi.com

武漢分公司(中国)

TEL: +86-27-8558-8299
FAX: +86-27-6560-5099
Email: mist@kirinoikeuchi.com

PT. IKEUCHI INDONESIA (インドネシア)

TEL: +62-21-8938-4201 (or 4202)
Email: sales@ikeuchi.id
URL: <https://www.ikeuchi.id/>

SIAM IKEUCHI CO., LTD. (タイ)

TEL: +66-(0)2-348-3801
FAX: +66-(0)2-348-3802
Email: thai@kirinoikeuchi.co.jp
URL: <https://www.ikeuchi.co.th/>

中日噴霧股份有限公司(台湾)

TEL: +886-2-2511-6289
FAX: +886-2-2541-6392
Email: sales@ikeuchi.com.tw
URL: <http://www.ikeuchi.com.tw/>

IKEUCHI VIETNAM CO., LTD (ベトナム/工場)

IKEUCHI USA, INC. (アメリカ)

TEL: +1-513-942-3060
Email: sales@ikeuchi.us
URL: <https://www.dry-fog.com/>

IKEUCHI EUROPE B. V. (オランダ)

TEL: +31-20-820-2175
Email: info@ikeuchi.eu
URL: <https://www.ikeuchi.eu/>

デモカー・製品説明会・サンプルサービス

より製品を知っていただくために、説明会の実施や、サンプル品・装置を積み込んだデモカーでのご訪問・実演を行っています。



メンテナンスサービス

定期的に補修が必要なシステムや機器は、メンテナンス契約をご利用いただけます。機器を最良の状態に調整いたします。

開発の歴史と時代背景

主な製品開発史

<p>1954 貿易商社として創業</p> <p>1961 呉工場を開設</p> <p>1979 西脇工場を開設</p> <p>1983 呉第二工場を開設</p> <p>1987 台湾台北市に子会社 中日噴霧股分 有限公司を設立</p>	<p>1960</p> <p>1961  世界初セラミック製スプレーノズル“CERJET”を開発</p> <p>1964  強打力洗浄用 テスケーリングノズル “DSP”シリーズを開発</p> <p>1973 金属製スプレーノズルを開発し、生産を開始</p> <p>1975 目詰まり防止形 均等充円錐ノズルを開発</p> <p>1979  超微霧発生ノズル “AKIJet”を発明し 海外特許を取得</p> <p>1980  AKIJet®搭載のドライフォグ加湿器 “AKIMist”を発明</p> <p>1983  製鉄用冷却ノズルを開発し連続铸造冷却に貢献</p> <p>1984 エレクトロニクス業界向け樹脂ノズルを開発</p> <p>1985  CERJETノズルの一体射出成形ノズル “セルティーム”を開発</p> <p>1990  産業空調加湿システム “AirAKI”による加湿業を創業</p> <p>1991 鋼板表面処理用 BIMV二重管ヘッダーを開発</p> <p>自洗扇形ノズル “MOMOJet”を開発</p>	<p>1994  薬液をドライフォグ化する殺菌消毒カート “SaniCart”を開発</p> <p>1997  静電気防止システムの開発・貢献により 静電気学会で進歩賞を受賞</p> <p>1998  ゴミ焼却場のダイオキシン対策に排煙冷却ノズル“GSI-M”を開発</p> <p>2000 超低気水比大噴量 2流体ノズル “GBIM”を開発 ワンタッチ脱着ノズル “一触ノズル”を開発</p> <p>2001 中国/上海市に代表所を設立</p> <p>2001  鉄鋼業界向け節水・長寿命テスケーリングノズル“TDSS”を開発</p> <p>2003 西脇工場を増床・増設</p> <p>2003  ノズル噴射式 自動洗浄フィルター “ARSフィルター”を開発</p> <p>2005 ベトナム/ハイホー市にIKEUCHI VIETNAM CO., LTD.を設立</p> <p>2005  環境対策・作業環境改善用ファンユニット “COOLetter”を開発</p> <p>2006 中国/上海市に霧の池内(上海)貿易有限公司を設立 アメリカ/オハイオ州にIKEUCHI USA, INC.を設立</p> <p>2006  ヒートアイランド・地球温暖化など環境対策製品 “涼霧システム”を開発</p> <p>2007 呉第二工場を統合し 呉新工場を開発</p> <p>2008 オランダ/アムステルダムにIKEUCHI EUROPE B.V.を設立</p> <p>2008  ドライフォグノズル AKI03を搭載した省エネルギー加湿器 “AKIMist E”を開発</p> <p>独自のかつ市場性のあるビジネス展開と事業成果が認められ、NBK大賞を受賞</p> <p>節水、省エネ技術、環境問題への功績が認められ、大阪市環境表彰を受賞</p>
--	---	---

時代背景



1960年代

- ◆鉄鋼・造船産業や石油化学などの成長が中心となり、**高度経済成長期**が始まる。

1970年代

- ◆石油ショックにより、産業構造は、**資源多消費型から省エネ型**へと転換。鉄鋼業では副生ガスの回収強化や連続鋳造方式への変更が行われる。
- ◆エネルギー使用の合理化に関する法律「**省エネルギー法**」の制定・施行。

1980年代

- ◆地球温暖化のリスクが一般に認知され始める。
- ◆IC技術の発展、**ハイテク産業の成長**が顕著。半導体分野においては静電気対策の啓蒙・実行が組織的に行われ始める。

1990年代

- ◆環境と開発に関する国際連合会議（地球サミット）で、世界規模での**地球温暖化対策**が議題に上がる。
- ◆「**省エネルギー法**」の改正。基本方針策定や、エネルギー管理指定工場に係る定期報告の義務付けなどが追加。
- ◆厚生省が「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン」を作成し、都道府県に通知。
- ◆環境基準や措置等を定めた「**ダイオキシン類対策特別措置法**」が成立。

2000年代

- ◆「**省エネルギー法**」の改正。大規模オフィスビル等への大規模工場に準ずるエネルギー管理の義務付けが追加。
- ◆「**ヒートアイランド対策**」大綱の策定。省エネルギー投資に対する支援が実施される。
- ◆「**京都議定書**」の採択。
- ◆**塗料業界にて、静電気による労働災害事故**への注意喚起を呼びかけ。

2010年代

- ◆東日本大震災後の、**電力需給逼迫**が社会問題に。安定供給確保に向け、夏季におけるガスタービンの出力低下を抑制する吸気冷却システムが注目される。
- ◆「**ヒートアイランド対策**」大綱の改訂。人の健康への影響等を軽減する適応策の推進が追加。



※時代背景は諸説あります。
当社調べによる一般的な事例をピックアップしております。

2010

2010



現場調査からアフターサービスまで一貫して対応する冷却事業部を展開

2011



濡れの問題を解消した温室内冷房・加湿システムを開発

2012



発電設備の増電、燃費改善用途にセミドライフォグ吸気冷却システムを開発

2013



大空間・半屋外冷房に省エネ冷房システム“COOLJetterDome”を開発



室内加湿・冷房にセミドライフォグ加湿システム“COOLJetterULM”を開発



施設などの生活空間の湿度コントロールにセミドライフォグ加湿ユニット“潤霧”を開発



省エネ加湿システムとして1流体加湿システム“AirULM”を開発

2014



室外機冷却ユニット“COOLSAVE-D”を開発

2016



冷房+加湿+防除自動化システム“CoolPescon”を開発

2017



バックバック型除菌・消臭ユニット“DRY FOG HIGHNOW”を開発

2018



電解次塩素酸と強アルカリ水を生成する装置Cleziaを開発

2019



1、2流体ハイブリッド加湿システム“AirHYBRID”を開発

2020

システム機器稼働監視用IoTシステムの開発

2012

中国/蘇州と天津に霧的池内(上海)貿易有限公司の分公司を設立

2013

インドネシアジャカルタにPT. IKEUCHI INDONESIAを設立

2016

中国/深圳に霧的池内(上海)貿易有限公司の分公司を設立

トルコ・タイ・UAE(アブダビ)に進出

2018

タイ/バンコクにSIAM IKEUCHI CO., LTD.を設立

中国/武漢に霧的池内(上海)貿易有限公司の分公司を設立

future

会社概要

会社設立	1954年(昭和29年)11月8日
資本金	9,000万円(自己資本76億円)
代表者	執行役員社長 中井 志郎
事業内容	産業用スプレーノズル・工業用加湿器ならびに 応用機器・関連システムの製造販売及び輸出入
従業員数	600名(関連会社を含む)
主要納入先	東京エレクトロン株式会社、ソニー株式会社、パナソニック株式会社、 富士通株式会社、日本電気株式会社、株式会社SCREEN、 日本製鉄株式会社、JFEスチール株式会社、株式会社神戸製鋼所、 株式会社荏原製作所、株式会社クボタ、三菱重工業株式会社、 川崎重工業株式会社、千代田化工建設株式会社、株式会社IHI、 大日本印刷株式会社、凸版印刷株式会社、トヨタ自動車株式会社、 日産自動車株式会社、TOTO株式会社、株式会社LIXIL、 ホクト株式会社、東京電力株式会社、中部電力株式会社、その他



〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-15-15第一協業ビル
TEL:06-6538-1075 FAX:06-6538-4023
<https://www.dry-fog.com/>



ISO9001 : 2015 認証
(関連会社を除く)